



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

メディア・リテラシーの育成について

校長 海江田 なぎさ

保護者や地域の皆様、10月も、生徒の健康管理、登下校の見守り等、様々な形での御協力を賜り、ありがとうございました。体育祭に引き続き、合唱祭でも、各学級、学年で、生徒、職員が力を合わせ、聴く人を感動させる合唱を目指し、活動しています。

さて、今月は、メディア・リテラシーの育成について考えます。

メディア・リテラシーとは、「文字を読み書きするよう
にメディアが伝える情報を読みといたり、情報を発信し
たりする能力」(NHK for School)です。「自ら学び、
考え、主体性をもって行動する力」を育むために、メディア
・リテラシーの育成は必須であり、学校では様々な学習
や活動を行っています。(右は、その一例です。)

また、警察の方に講師を務めていただく講演会や、タ
ブレットの使い方を自分たちで考える活動など、情報モ
ラルの育成にも積極的に取り組んでいます。御家庭で
も、機会をとらえて様々な働きかけや対話を行っていた
だいでいることと思います。

しかし、子どもを取り巻く環境、とりわけSNSの与
える影響は深刻です。9月には、オーストラリアで、子
どもがSNSを利用することを禁止する法案が提出され
たという報道(※)がありました。本校でも、当初の年
間計画にはありませんでしたが、生徒の状況から判断し、弁護士の方を
講師として、SNSの利用と法律を関連づけ、より深く学ぶ機会を設け
ることにしました。

保護者・地域の皆様の御理解・御協力を賜りながら、これからの社会
を生きるために必要な力の育成を目指し、教育活動を進めてまいりま
す。11月もどうぞよろしくお願いいたします。

- 話や文章に含まれている情報の信頼性を確かめ、使う学習
- 情報手段を積極的に活用し、情報の収集、処理や発表を行う学習
- 日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、問題を見いだし、解決する学習
- 情報通信ネットワークを介して得られた情報は適切なものばかりではないことに留意し、必要に応じ効果的に活用する学習
- 授業で表現・鑑賞する曲、インターネットで配信される音楽が知的財産であることを理解する学習
- 表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアを積極的に活用する学習
- スポーツに関するニュースをもとに、文化としてのスポーツの意義について考える学習
- 著作権を含めた知的財産権、発信した情報に対する責任、及び社会におけるサイバーセキュリティの重要性、個人情報の保護の必要性について理解する学習
- 言語やその背景にある文化に対する理解を深めるとともに、情報を整理しながら、英語で表現する学習
- 答えが一つではない道徳的な課題を、自分自身の問題と捉え、向き合う学習
- 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析する活動
- よりよい学校づくりのため、協力して諸問題を解決する活動



※ 時事通信外信部
2024年9月10日

2011年、駅伝練習中に心停止となり、AEDが使用されることなく亡くなった桐田明日香さんの命日である9月30日を、さいたま市では「明日(あす)も進むいのちの日」と制定しています。本校でも、AEDの点検、保健委員会が中心となりスタンプリ形式でAEDと担架の設置場所の確認等を行いました。

当時のことを知っている職員が少なくなっていく中、この教訓を次の世代に確実に伝えていかなければ、という思いを新たにしました。

校門脇に設置されているAED(市内の酒造会社から全ての市立中学校に寄贈していただいたもの)は、“誰でも”“いつでも”使うことができます。